

【I テサロニケ人への手紙 5章】

「神は、私たちが御怒りに会うようにお定めになったのではなく、主イエス・キリストにあって救いを得るようにお定めになったからです。」
(I テサロニケ5:9)

再臨がいつくるかというのは、盗人がいつ来るかわからないように、思いがけない時に来るから備えをしないと勧められています。特に16節～18節は有名な箇所です。
「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべての事について、感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。」
喜ぶことがあり、聖霊に満たされているなら、それらのことはできますが、神様は私たちがどんなに弱く、信仰を持っていない者であるかをご存知のお方です。

「主はご自分の民からみ顔を隠された。しかし、私は主に信頼し、このお方に望みをかける。」(イザヤ8:17) あなたがどう感じようとも、神様は現実におられます。食物、家族、友人、健康など全ての環境に恵まれ、順調に事が運んでいる時に、神様を礼拝するのはそう困難なことではないでしょう。しかし、いつもそのような状況ばかりとは限りません。そのような逆境にある時に神様を礼拝するのはどうしたらよいのでしょうか。神様が遠く離れておられるように感じる時、あなたはどうしますか？最も深いレベルの礼拝は、あなたが痛みの中にある時にこそ神様を喜び賛美することです。試みにあっている時にこそ、神様を信頼し、感謝し祈り続け信頼しすべてを神様に委ねるのです。永遠に変わらない愛を信じ続けるのです。神様と最も親しい友情関係を持っていたダビデに、神様は「私の心にかなった者」と言われました。ダビデはまさにそのことを実行した人です。

詩篇に何回も記述されています。ヨブ記もそうです。

クリスチャンたちが神様ご自身を求めるよりも、何かの体験を求める傾向にあります。神様がどのようなお方なのか、その変わることはないご性質をしっかりと見つめることのほうが大切です。

- 神様は善いお方であって、愛に満ちたお方。
- 全能のお方。
- 私の人生を何もかもご存知である。
- 全てをご支配なさっておられる。
- 私の人生にご計画を持っておられる。
- 私を救ってください。

神様はその約束に真実なお方であることを信じましょう。神様があなたの為に既に成してくださったことを思い出しましょう。主イエス様は絶望の中でご叫ばれました。「我が神、我が神、どうして私をお見捨てになったのですか。」主イエス様はご自分を救うこともできましたが、あなたを私を救う為に、あえてそうなさらなかったのです。あなたが私が永遠の裁きを免れ、永遠に神の栄光にあずかる為です。神様に見捨てられたと感じることがあっても感情に左右されることなく、神様を信じ続け、喜び、祈り感謝し続ける時、あなたは最も深いところで、生ける神様を礼拝しているのです。これこそ神様の喜ばれる礼拝です。神様がその御手を動かして下さらないはずはありません！！

* 皆様のお手荷物・貴重品等には十分ご注意ください。
教会内での紛失や盗難等については一切責任を負いかねます。



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven

主任牧師:イエス・キリスト

牧師:ダニエル大重

SHILOAM

【シロアム：遣わされた者】

2012.12.30 No.716

今年のみ言葉

天よ。耳を傾けよ。私は語ろう。
地よ。聞け。私の口のことばを。
私のおしえは、雨のように下り、
私のことばは、露のようにしたたる。
若草の上の小雨のように。
青草の上の夕立のように。

私が主の御名を告げ知らせるのだから、

栄光を私たちの神に帰せよ。

主は岩。主のみわざは完全。まことに、主の道はみな正しい。
主は真実の神で、偽りがなく、正しい方、直ぐな方である。

申命記32：1～4



主の十字架クリスチャンセンター (TLCCC)

The Lord's Cross Christian Center

<http://tlcccfrh.astone-blog.jp/>